

研究課題名	家族性大腸腺腫症患者に発生する消化管ポリープに対する PPI/P-CAB の影響の検討
研究期間	実施許可日 ～2024 年 12 月 31 日
研究の対象	2000 年 1 月 1 日 ～2023 年 8 月 31 日の間に広島大学病院内視鏡診療科および石川消化器内科クリニックで上部消化管内視鏡検査や大腸内視鏡検査でプロトンポンプインヒビター (PPI) やカリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) の投与前後に検査が行われ、胃底腺ポリープや大腸ポリープの増減について観察することができた家族性大腸腺腫症の患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：家族性大腸腺腫症 (FAP) 患者における消化管ポリープに対する PPI/P-CAB の影響を明らかにすること。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、PPI/P-CAB 投与による胃底腺ポリープや大腸ポリープの増減やその病理組織所見や検査に使用した残余分を免疫染色し組織所見の変化について調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果（血清ガストリン値も含む）、消化管内視鏡所見での胃底腺ポリープや大腸ポリープの数や大きさや病理組織所見（Ki67 免疫染色）
外部からの試料・情報の提供	石川消化器内科クリニックから広島大学病院への情報提供は、パスワードロックをかけたエクセルデータをメールで送られます。また石川消化器内科クリニックの患者さんの残余検体を保管している PCL ジャパンから、広島大学病院へ郵送にて検体を送ります。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報から、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないよう加工した上で提供使用します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者および石川消化器内科クリニックの責任者が各施設にて厳重に保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎 研究代表者 広島大学病院消化器内科 教授 岡 志郎 既存試料・情報の提供機関 石川消化器クリニック 石川秀樹 PCL ジャパン 石黒信吾

その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 消化器内科 担当者：卜部祐司 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5193